



13、

17

0



M-0055

完

省 及 受 付 日 月 號 合 議 局 號 及 受

第 一 號	第 二 號	第 三 號	第 四 號	第 五 號	第 六 號	第 七 號	第 八 號
送 受	送 受	送 受	送 受	送 受	送 受	送 受	送 受
月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日



起 案  
 昭和十八年七月二十一日  
 局 受  
 月 日  
 月 日  
 月 日

決 行 日 文 書 課

主 查 監 理 課 長

管 理 局 長

大 臣

次 官

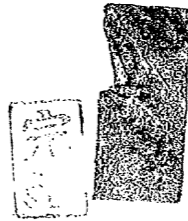
文 書 課 長  
 人 事 課 長

請 議 案

臺灣總督府海軍兵志願者訓練所官制制定ノ件

臺灣ニ於ケル海軍特別志願兵制度ノ實施ニ伴ヒ之ガ志願者  
 ヲ訓練スル爲臺灣總督府海軍兵志願者訓練所官制制定ノ必  
 要ヲ認ム仍テ別紙勅令案ヲ提出ス

規格 B 5



3

193

十八七二

昭和八年七月廿二日

管内

管理員長



文書課長  
人事課長

請 議 案

海軍省海軍兵志願者訓練所官制制定ノ件

経緯ニ於ケル海軍省海軍兵志願者訓練所官制制定ノ件ニ伴ヒ之ガ志願者  
ヲ訓練スル爲メ海軍省海軍兵志願者訓練所官制制定ノ必  
要ヲ認ム仍テ別紙總合案ヲ提出ス



第	第	第
號	號	號
送	送	送
受	受	受
月	月	月
日	日	日
日	日	日

右閣議ヲ請フ

昭和 年 月 日

内務大臣

内閣總理大臣宛

陸海軍總督府海軍兵志願者訓練所官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和十八年七月十七日

内閣總理大臣  
内務大臣

勅令第六百一十一號

内務省

海軍兵志願者訓練所官制

臺灣總督府海軍兵志願者訓練所官制

第一條 臺灣總督府海軍兵志願者訓練所ハ臺灣總督ノ管理ニ屬シ

海軍特別志願兵令第一條ノ規定ニ依リ海軍ノ兵役ニ服スルコト

ヲ志願シタル者ニ對シ心身ノ鍛鍊其ノ他ノ訓練ヲ施ス所トス

第二條 海軍兵志願者訓練所ヲ左ノ職員ヲ置ク

所長

教官

書記

專任十九人内 三人 兼任  
十六人 兼任

專任二人 兼任

第三條 所長ハ兼任官タル教官ヲ以テ之ニ充テ臺灣總督ノ指揮監督

ヲ承ケ所務ヲ掌理ス

規 格 第 4

第四條 教官ハ上官ノ指揮ヲ承ケ訓練ヲ掌ル  
第五條 書記ハ上官ノ指揮ヲ承ケ職務ニ従事ス  
第六條 海軍兵志願者訓練所ノ名稱及位置ハ海軍總務部之ヲ定ム

附 則

本令ハ昭和十八年八月一日ヨリ之ヲ施行ス  
昭和十八年八月三十一日迄ハ第二條ノ規定ニ拘ラズ奏任官タル教官ハ專任二人、副教官兼主任教官ヲ兼任シ且ト書記ハ專任一人ヲ以テ定員トス

内 務 省



理由

臺灣本島人ニシテ海軍特別志願兵令ニ依リ海軍ノ兵籍ニ編入セラ  
ルベキ者ノ心身ノ鍛鍊其ノ他ノ訓練ヲ施ス爲海軍兵志願者訓練所  
設置ノ要アルニ依ル

内務省



九〇五

M-0055



昭和十八年度

臺灣總督府海軍兵志願者訓練所官制制定案



勅令第 號

臺灣總督府海軍兵志願者訓練所官制

第一條 臺灣總督府海軍兵志願者訓練所ハ臺灣總督ノ管理ニ屬シ海軍特別

志願兵令第一條ノ規定ニ依リ海軍ノ兵役ニ服スルコトヲ志願シタル者

ニ對シ心身ノ鍛鍊其ノ他ノ訓練ヲ施ス所トス

第二條 海軍兵志願者訓練所ニ左ノ職員ヲ置ク

所長

教官

書記

專任十四人 内十四人 兼任

專任四人 兼任

第三條 所長ハ兼任官タル教官ヲ以テ之ニ充ツ臺灣總督ノ指揮監督ヲ承ケ

、所務ヲ掌理ス

第四條 教官ハ上官ノ指揮ヲ承ケ訓練ヲ掌ル

第五條 書記ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第六條 海軍兵志願者訓練所ノ事務ハ本令ノ規定ニ依リ

本令ハ昭和十八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

高等官官等俸給令第十四條中「臺灣總督府陸軍兵志願者訓練所教官」ハ長ク

一ノ次ニ「臺灣總督府海軍兵志願者訓練所教官」トシ、同令第十五條

中「臺灣總督府陸軍兵志願者訓練所教官」ハ長ク一ノ次ニ「臺灣總督府

海軍兵志願者訓練所教官」トシ、同令第十五條

中「臺灣總督府陸軍兵志願者訓練所教官」ハ長ク一ノ次ニ「臺灣總督府

海軍兵志願者訓練所教官」トシ、同令第十五條

中「臺灣總督府陸軍兵志願者訓練所教官」ハ長ク一ノ次ニ「臺灣總督府

海軍兵志願者訓練所教官」トシ、同令第十五條

中「臺灣總督府陸軍兵志願者訓練所教官」ハ長ク一ノ次ニ「臺灣總督府

海軍兵志願者訓練所教官」トシ、同令第十五條

中「臺灣總督府陸軍兵志願者訓練所教官」ハ長ク一ノ次ニ「臺灣總督府

海軍兵志願者訓練所教官」トシ、同令第十五條

中「臺灣總督府陸軍兵志願者訓練所教官」ハ長ク一ノ次ニ「臺灣總督府

海軍兵志願者訓練所教官」トシ、同令第十五條

中「臺灣總督府陸軍兵志願者訓練所教官」ハ長ク一ノ次ニ「臺灣總督府

海軍兵志願者訓練所教官」トシ、同令第十五條

中「臺灣總督府陸軍兵志願者訓練所教官」ハ長ク一ノ次ニ「臺灣總督府

理由

戸籍法ノ適用ヲ受ケザル本島人ニ對スル海軍特別志願兵制實施ニ伴ヒ之ガ  
志願者ヲ訓練スル爲臺灣總督府海軍兵志願者訓練所ヲ設置スルノ要アルニ  
依ル

説 明 書

海軍特別志願兵令制定ニ依リ昭和十八年十月ヨリ戸籍法ノ適用ヲ受ケザル  
本島人中年齡十六年以上二十五年未満ノ男子ニシテ海軍兵ヲ志願スル者ハ  
銚衛ノ上之ヲ海軍ノ兵籍ニ編入スルコト爲リタル處本島人ニ對スル志  
願兵制度ノ施行ハ曩ニ施行セラレタル陸軍特別志願兵制度ト共ニ臺灣統治  
上劃期的重要事項ニシテ其ノ成否ハ直ニ統治上重大ナル影響ヲ及ボスヲ以  
テ之ガ實施ニ當リテハ最モ慎重固到ナルヲ要ス  
依テ其ノ萬全ヲ期スル爲本制度ノ趣旨ノ徹底、募集、銚衛等ノ完璧ヲ期ス  
ルハ勿論志願者ニ對シ心身ノ鍛鍊其ノ他ノ訓練ヲ爲シ海軍兵志願者タルノ  
資質ヲ涵養セシメントス之ガ爲海軍兵志願者訓練所ヲ新設シ志願者中ヨリ  
優秀ナル者ヲ嚴選ノ上毎年ニ〇〇〇名ノ生徒ヲ採用シ之ヲ一〇〇〇名宛ニ

三

回(四月、十月)ニ分チ一期大ヶ月間入所セシメ訓育、普通學科及術科ヲ  
授ケ皇軍ノ一員トシテ内地入壯丁ト遜色ナキ人物タラシムバク訓練セント  
スルモノナリ

參考資料目次

- 一 訓練所ノ組織及内容其ノ他
- 二 訓練所編成
- 三 訓練項目、教授内容及每週教授時數
- 四 教官每週教授時數
- 五 海軍特別志願兵令案
- 六 海軍特別志願兵令施行規則案
- 七 臺灣總督府海軍兵志願者訓練所規程案
- 八 臺灣總督府海軍兵志願者訓練所生徒銓衡手續案
- 九 臺灣總督府陸軍兵志願者訓練所官制
- 十 昭和十八年度臺灣總督府海軍兵志願者訓練所費豫算

參考一

訓練所ノ組織及内容其ノ他

一 組織及内容

臺灣總督府海軍兵志願者訓練所ハ之ヲ高雄ニ置キ臺灣總督ノ管理ニ屬シ本島人ニシテ海軍兵ヲ志願スル者ノ中ヨリ優秀ナル者ヲ選抜シ六ヶ月心身ヲ鍛鍊シ且所要ノ訓練ヲ施ス所ニシテ教官ニ四(奏任一、判任一、四)書記四ヲ以テ本部、普通學部、訓練部ヲ置カントス

(一) 所長 教官(奏任)

所長ハ奏任官タル教官ヲ以テ之ニ充テ自ラ訓育ヲ擔當セシムルト共ニ本部、普通學部及訓練部ヲ總括シ奏任教官以下ノ訓練法ヲ指導シ且奏任教官以下ノ資質向上ニ努メシメ尙訓練所ヲ中心トシ總督府及軍部並

ニ地方廳トノ關係ヲ円滑ナラシム

(二) 本部 書記四人

書記ニ人ハ庶務、二人ハ會計ニ關スル事務ヲ擔當セシム

(三) 普通學部 教官一七人(奏任三、判任一四)

奏任教官一人ハ普通學部ヲ總括シ他ノ奏任教官二人ハ所長ノ行フ訓育ト連繫ヲ保チ皇民トシテノ修養ニ關シ訓練セシムルト共ニ判任教官ノ教材並ニ訓練法ニ關シ指導シ且判任教官ノ資質向上ニ努メシム

判任教官ハ國語、國史ニ各三人宛地理、算數、理科、体操ニ各二人宛ヲ充テ普通學科ヲ介擡セシムルト共ニ鍛鍊ニ關シテハ鍛鍊部ノ業務ヲ援助セシム

(四) 訓練部 教官(奏任)六人

一人ハ訓練部ヲ統括シ所長ノ行フ訓育ト連繫ヲ保テ術科ニ重點ヲ置キ  
他ノ分隊長タル兼任教官ノ教材並ニ訓練法ニ関シ指導スルト共ニ分隊  
長ノ資質向上ニ努メシム

分隊長タル兼任教官ハ専ラ分隊内ノ訓育ヲ掌ラシム

(五) 其ノ他

教授時間外ニ於テハ教官中ヨリ週番勤務者ヲ置キ常ニ生徒ト起居ヲ共ニ  
シ兼任教官ノ行フ訓育、修身公民科ノ繳ニ沿ヒ常時起居、容儀ニ関シ  
内務ノ訓練ニ充テシム

(六) 給 與

生徒ハ全部寄宿舎ニ收容シ糧食並ニ學費ヲ官給シ且被服ヲ貸與ス  
生徒ノ資格

(一) 皇國民タルノ自覺ニ徹シ盡忠報國ノ精神ニ燃エル者タルコト

(二) 年齢十六年以上ニ十五年未満ノ者

(三) 海軍志願者身体検査規則ノ規定ニ依リ検査ニ合格ト判定セラレタル  
者

(四) 國民學校初等科ヲ修了シタル者又ハ之ト同等以上ノ資質ヲ有スルト  
認ムル者

除隊後ノ指導

訓練所修了者ハ海兵團ニ入團セシムラルルコトト爲ルモノナルモ入團後  
ハ内地人壯丁ト何等異ナルコトナク教育セラレ随ツテ幹部ニ志願スルコ  
トモ可能ナルモノナリ之等海兵團ニ入團セル者満期除隊シタルトキハ在  
郷軍人會員タルハ勿論青年教育ノ指導員、警察官、市街庄、産業組合、

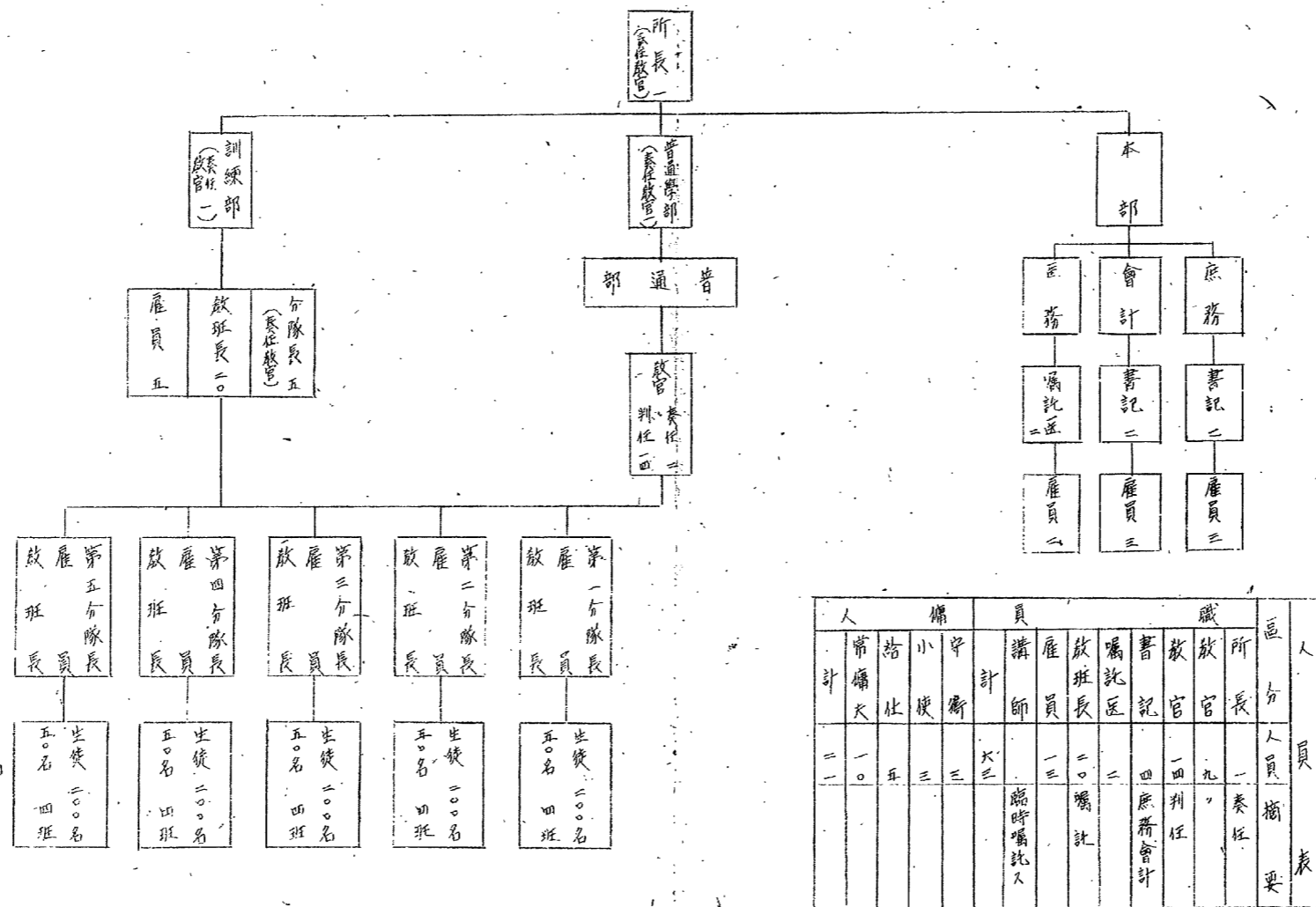
皇民奉公會等其ノ他ノ團體ニ採用シ一般民衆ニ對スル國體觀念ノ培養、  
日本精神ノ吹吹等ニ關シ指導者タルノ光榮ト責務ヲ感得セシムル様指導  
セント考慮シアリ

一 訓練所生徒採用手續概要

- (一) 訓練所入所志願者ハ訓練所長宛願書ヲ本籍地所轄郡守、警察署長又ハ支廳長ニ提出スルモノトス
- (二) 本籍地外ノ居住地ニ於テ陸衛試験ヲ受ケントスル者ニ對シテハ本籍地郡守、警察署長又ハ支廳長ハ願書(附屬書類ヲ含ム)ヲ現住地所轄郡守、警察署長又ハ支廳長ニ移送スルモノトス
- (三) 願書ヲ受理シタル郡守、警察署長又ハ支廳長ハ別ニ定ムル所ニ依リ審査ノ上意見ヲ附シ州知事又ハ廳長ニ進達ス
- (四) 州知事又ハ廳長ハ前項ノ進達ニ基キ審査ノ上適當ト認ムル者ニ付陸衛試験ヲ行フ
- (五) 州知事又ハ廳長ノ試験ハ口頭試問、學科試験及身体検査ニ付之ヲ行フ
- (六) 州知事又ハ廳長ノ推薦スベキ者ノ數ハ總督府ヨリ之ヲ州知事又ハ廳長ニ通知ス
- (七) 訓練所長ハ州知事又ハ廳長ノ推薦シタル者ニ對シ身体検査ヲ行ヒ臺灣總督ノ認可ヲ受ケ入所者ヲ決定ス  
本身体検査ハ海軍軍醫科士官ニ委囑シテ之ヲ行フ
- (八) 入所セシムベキ者ノ氏名及入所期ハ臺灣總督府官報ヲ以テ之ヲ公示ス

參考二

訓練所編成表 (五分隊編成トス)





參考三

訓練項目、教授内容及每週班當授業時數

項 目	教 授 内 容	普 通 學			公 民 科	訓 育 科
		國 語	算 數	國 史		
四	國體ノ本義 皇國臣民タルノ本分自覺 國民道徳、作法 法制經濟ノ大要 公民ノ義務 其ノ他、公民トシテ必要ナル知識	日幣須知ノ文學 普通文ノ講讀、習字、作文	算術 代數、幾何ノ初歩	國史ノ大要 國勢、國民文化 國際情勢	三	毎 週 時 數

合 計	術			科		
	衛 生	体 操	教 練	理 科	地 理	
三九	理科ト關係シテ行フ	徒手体操、器械体操 走法、投擲、其ノ他	海上教練 徒手教練 執銃教練、射擊 野外演習 劍、柔道、銃劍術 其ノ他	生理、衛生救急法ノ大要 重要ナル物理、化學ニ關スル知識ノ大要	日本地理ノ大要 帝國ノ重要關係ナル外國地理ノ大要 帝國ノ地位ト外國トノ比較	二

参考四

各教官每週擔任時數

										訓 育 公 民 科
										國 語
			五	五	班 當 五					算 數
		班 當 二								國 史
										地 理
										理 科
										教 育
										體 操
										檢 查
担 任 班 一 八	〃 〃 二〇	担 任 班 二〇	〃 〃 二五	〃 〃 二五	担 任 班 二五	担 任 班 二〇	〃 〃 二〇	〃 〃 一八	〃 〃 一八	檢 查 時 數 担 任 教 官
17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	

										訓 育 公 民 科
										國 語
										算 數
										國 史
										地 理
										理 科
										教 育
										體 操
										檢 查
〃 一八	〃 一八	〃 一八	〃 一八	〃 一八	〃 一八	〃 一八	〃 一八	〃 一八	〃 一八	檢 查 時 數 担 任 教 官
7	6	5	4	3	2	1	0	0	0	

備考

一 所長ハ隨時訓育ヲ爲スモノトス  
二 訓育及國語教育ハ右ノ外全科目ヲ通ジ之ヲ爲スモノトス

				〃	〃
				三	三
		〃	班 二		
〃	班 二				
二	二				
〃	〃	〃	班 二	〃	班 二
二	二	二	二	二	二
〃	〃	〃	〃	〃	〃
23	22	21	20	19	18

参考七

臺灣總督府海軍兵志願者訓練所規程案(府令)

第一條 臺灣總督府海軍兵志願者訓練所ハ海軍ノ兵役ニ服スルコトヲ志願シタル者ニ對シ總性ヲ涵養シ心身ヲ鍛鍊シ知識ヲ授ケ以テ皇國臣民タルノ本分ヲ自覺セシムルト共ニ海軍兵タルニ必須ナル基礎訓練ヲ施スヲ目的トス

第二條 訓練所ニ入所セシムベキ者ハ戶籍法ノ適用ヲ受ケザル年齡十六年以上ニ十五年未滿ノ帝國臣民タル男子ニシテ海軍ノ兵役ニ服スルコトヲ志願シタル者ノ中ヨリ銓衡ノ上之ヲ決定ス

前項ニ規定スル年齡ハ志願ノ年ノ十二月一日ニ於ケル年齡トス

第三條 前條ノ銓衡ハ左ノ各號ニ該當シ州知事又ハ廳長ノ推薦シタル者ニ付之ヲ行フ

一 左表ノ規格ヲ超ユル者

	十八年以上	十八年未滿	十七年未滿
身長(厘)	一五七〇	一五六〇	一五四〇
体重(斤)	四八〇	四六〇	四三〇
胸圍(厘)	七八〇	七七〇	七五〇
胸廓擴張(厘)	六〇	五五	五五
肺活量(立方厘)	三〇〇〇	三〇〇〇	二八〇〇
握力左右各(斤)	二八〇	二六〇	二四〇
視力	各眼一〇(各眼八以上ニテ矯正)ニ達スル者ハ之ヲ合格ト爲スコトヲ得		

備	考
	一 主計兵志願ノ身長ハ一五〇。〇 櫃迄低下スルコトヲ得
	二 掌電信兵タルコトヲ志願スル水兵、軍樂兵、看護兵及主計兵志願ノ者ニ在リテハ各眼視力〇。六矯正視力一〇ニ達スルモノハ之ヲ合格ト為スコトヲ得

三 國民學校初等科ヲ修了シタル者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スト認ムル者

三 志操確實ニシテ品行方正ナル者

第四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ入所スルコトヲ得ズ

一 破産者ニシテ復權ヲ得ザル者

二 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

三 罰金刑ニ處セラレタル者ニシテ其ノ所犯志願兵トシテ不適當ト認ム

ル者

第五條 入所志願者ハ別記第一號様式ノ海軍兵志願者訓練所入所願(以下

入所願ト稱ス)ニ第二號様式ノ履歷書及官公立醫院、公醫又ハ官公署ノ

獨託セル醫師ノ作製セル第三號様式ノ体格検査表ヲ添へ毎年 月 日

迄ニ本籍地所轄ノ郡守、警察署長又ハ支廳長ニ提出スベシ

第六條 郡守、警察署長又ハ支廳長前條ノ入所願ヲ受理シタルトキハ第二

條乃至第四條ニ掲グル事項其ノ他銓衡上參考ト為ルベキ事項ニ付調査ノ

上意見ヲ附シ之ヲ州知事又ハ廳長ニ進達スベシ

第七條 州知事又ハ廳長ハ前條ノ進達ニ基キ審査ノ上適當ト認ムル者ニ付

試験ヲ行フ

第八條 試験ハ身体検査、口頭試問及學科試験ニ分チ之ヲ行フ

身体検査ハ海軍志願者身体検査規則ノ規定ニ準ジ之ヲ行フ

學科試験ハ國民學校初等科修了ノ程度ニ依リ國語(譯解、作文及書取)

國史及算數ノ三科目ニ付之ヲ行フ但シ中等學校程度以上ノ學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ニ對シテハ之ヲ省略スルコトヲ得

第九條 試験ハ本籍地又ハ現住所所在地ノ州廳ニ於テ之ヲ受クベシ

第十條 州知事又ハ廳長ハ試験ノ日時及場所ヲ試験施行ノ日ノ五日前迄ニ到達スル如ク受験者ニ通知スベシ

第十一條 州知事又ハ廳長ハ試験ノ結果ニ依リ入所ニ適スト認ムル者ヲ訓練所長ニ推薦スベシ

第十二條 訓練所長ハ州知事又ハ廳長ノ推薦シタル者ニ付海軍志願者身体

検査規則ノ規定ニ準ジ検査ヲ行フ

第十三條 訓練所長ハ検査施行ノ日ノ五日前迄ニ到着スル如ク受験者ニ通知スベシ

第十四條 訓練所長ハ前條ノ検査ニ合格シタル者ニ付銜ノ上入所セシムベキ者ヲ決定スベシ

前項ノ決定ニ付テハ臺灣總督ノ認可ヲ受クベシ

第十五條 訓練所長ハ入所セシムベキ者ノ氏名及入所期ヲ臺灣總督府官報ヲ以テ公告シ且本人ニ通知スベシ

第十六條 入所ヲ許可セラレタル者ハ入所ノ際別記第四號様式ノ誓書及父兄、親族其ノ他身元確實ナル者ヲ保證人トスル第五様式ノ保證書ヲ差出スベシ

第十七條 訓練所ニ於ケル訓練科目ハ訓育及普通學科トス

前項ノ要目及其ノ程度ニ關シテハ訓練所長臺灣總督ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ム

第十八條 訓育ハ左ノ要領ニ依リ之ヲ實施スベシ

一、精神教育

教育ニ關スル勅語及軍人ニ賜リタル勅諭ノ趣旨ニ基キ皇國精神ヲ涵養シ之ヲ實踐躬行ニ導クヲ以テ本旨トシ特ニ國體觀念ヲ明徹ナラシメ皇國臣民トシテノ責務ヲ全カラシムルニ必要ナル事項ニ留意シテ之ヲ授ク

二、技能教育及体育

教練、体操、武道其ノ他海軍ニ必要ナル事項ニ重點ヲ置キ精神教育

五

トシ聯絡ニ留意シ皇國精神ノ陶冶ニカム

教練ニ於テハ各個教練、部隊教練ヲ主トシ併セテ海上勤務ニ必要ナル技能ノ一部ヲ習得セシム

第十九條 普通學ハ國語、國史、地理、算數、理科等ニ關スル事項ヲ付國

民學校高等科ノ程度ヲ基準トシ海軍兵タルニ必要ナル事項ヲ選ビテ之ヲ授ケ特ニ訓育トノ聯絡ニ留意スベシ

第二十條 訓練所ノ訓練期間ハ六月トス但シ特別ノ事由アルトキハ訓練期間ヲ變更スルコトアリ

第二十一條 訓練所ノ入所期ハ毎年四月及十月トス但シ特別ノ事由アルトキハ入所期ヲ變更スルコトアリ

第二十二條 訓練所ニ於テ所定ノ訓練ヲ行ハザル日左ノ如シ

- 一 昭和二年勅令第二十五號ニ依リ休日タル祭日、祝日
- 二 靖國神社大祭日、臺灣神社例祭日、海軍記念日、始政記念日
- 三 日曜日
- 四 十二月二十九日より翌年一月三日迄

訓練所長必要アリト認ムルトキハ前項ノ訓練ヲ行ハザル日ニ於テモ訓練ヲ行フコトヲ得

特別ノ事由アルトキハ訓練所長ハ臺灣總督ノ認可ヲ受ケ臨時訓練ヲ行ハザルコトヲ得

第二十三條 前條ノ祝日、祭日ニハ違拜式、記念日ニハ記念式ヲ行フベシ

第二十四條 生徒ハ之ヲ所内ニ宿泊セシム但シ特別ノ事由アルトキハ訓練所長ハ本人ノ願ニ依リ外泊ヲ許可スルコトヲ得

第二十五條 訓練所生徒ニハ學費及糧食ヲ給與シ被服ヲ貸與ス

前項ノ給與及貸與ニ關シテハ訓練所長臺灣總督ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ム

第二十六條 訓練所長ハ訓練上必要アリト認メタルトキハ生徒ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得

第二十七條 訓練所長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ對シテハ臺灣總督ノ認可ヲ受ケ退所ヲ命ズベシ

一 志操中正ヲ缺キ又ハ行狀不良若クハ怠慢ニシテ訓戒ヲ加フルモ改換セザル者

二 成績不良又ハ身体虚弱ニシテ課程ヲ修了スル見込ナキ者

三 海軍特別志願兵令施行規則第 條 規定ニ依リ兵役免除ノ處分アリタル者



四 前各號ニ掲グル者ノ外志願兵タルニ適セズト認メタル者

第二十八條 退所ヲ命ゼラレタル者ニ對シテハ在所中給シタル食費ヲ償還

セシム但シ情狀ニ依リ其ノ一部又ハ全部ノ償還ヲ免除スルコトアルベシ

第二十九條 生徒ハ自己ノ願出ニ依リ退所スルコトヲ得ズ

第三十條 訓練所ノ課程ヲ修了シタル者ニハ修了證書ヲ授與ス但シ必要ト

認ムル者ニ對シテハ次期一定ノ期間訓練ノ上其ノ成績ヲ考查シ修了證書

ヲ授與スルコトアルベシ

成績優良ナル者ニ對シテハ優良證書ヲ授與スルコトヲ得

第三十一條 生徒ニハ訓練手牒ヲ所持セシムベシ

第三十二條 訓練上必要ナル細則ハ訓練所長、臺灣總督ノ認可ヲ受ケ之ヲ

定ム

第三十四條 第十條、第十三條、第十五條ノ規定ニ依ル通知ハ本籍地ノ州

知事又ハ廳長及郡守、警察署長ヲ經テ行フモノトス

附則

本令ハ昭和十八年 月 日ヨリ之ヲ施行ス

別記

第一様式

第二様式

第三様式

第四様式

参考ハ

臺灣總督府海軍兵志願者訓練所生徒銓衡手續案(訓令)

第一條 臺灣總督府海軍兵志願者訓練所(以下訓練所ト稱ス)ノ所長志願者須知要項其ノ他必要ナル事項ヲ毎年入所セシムベキ年ニ公示スベシ

第二條 即守、警察署長又ハ支廳長ハ海軍兵志願者訓練所入所願(以下入所願ト稱ス)ヲ提出シタル者ノ中本籍地外ニ於テ試験ヲ受ケントスル入所志願者アルトキハ關係書類(入所願、履歷書、体格検査表)ヲ現住地所轄ノ即守、警察署長又ハ支廳長ニ移送スベシ

第三條 即守、警察署長又ハ支廳長ハ入所願受理締切後直ニ入所志願者數ヲ州知事又ハ廳長ニ報告スベシ

前條ノ入所志願者ノ數ハ之ヲ現住地ノ入所志願者數ニ算入ス

州知事又ハ廳長第一項ノ報告ヲ受ケタルトキハ之ヲ取纏メ臺灣總督ニ報告スベシ

第四條 即守、警察署長又ハ支廳長ハ志願者ノ關係書類ニ左ノ書類ヲ添付シ之ヲ毎年 送ニ州知事又ハ廳長ニ進達スベシ

身上明細書

志願者ノ本籍、現住所、氏名及生年月日ヲ記載シタル連名簿

一通(別記第一號様式)

一通(別記第一號様式)

第五條 即守、警察署長又ハ支廳長ハ身上調査ヲ要スベキモノアルトキハ相互ニ速ニ照會又ハ回答ヲ爲スベシ

第六條 州知事又ハ廳長ノ行フ身体検査ハ州廳職員タル醫師其ノ他ノ醫師ニ命ジ又ハ委嘱シテ之ヲ行フベシ

検査醫ハ海軍志願者身体検査規則第二章ノ規定ニ準ジ検査ヲ實施シ合格  
不合格ヲ判定スベシ

第七條 口頭試問ハ其ノ州廳内高等官及課長タル判任官ノ中ヨリ試験委員

左記書類ヲ毎年 迄ニ訓練所長ニ送付スベシ

推薦者名簿 (別記第三號様式) 二通

願書 一通

履歷書 一通

体格検査表 一通

戸口抄本 一通

身上明細書 一通

身体検査表 (別記第四號様式) 一通

五

第十二條 臺灣總督府海軍兵志願者訓練所規程第十二條ノ規定ニ依ル検査

ハ高雄警備府司令長官ノ指定スル軍醫科士官ニ委嘱シテ之ヲ行フ

第十三條 訓練所長入所者ヲ決定シタルトキハ其ノ氏名及入所期ヲ推薦シ

タル州知事又ハ廳長ニ通知スベシ

州知事又ハ廳長前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ願書類ヲ進達シタル即守、

警察署長又ハ支廳長ニ之ヲ通知スベシ

即守、警察署長又ハ支廳長ハ入所決定ノ通知ヲ受ケタル者ニシテ其ノ管

内ニ本籍ヲ有セザル者アルトキハ其ノ氏名ヲ本籍地所轄地ノ即守、警察

署長又ハ支廳長ニ通知スベシ

附 則

本令ハ昭和 年 月 日ヨリ之ヲ適用ス

參考九

勅令第 號

臺灣總督府陸軍兵志願者訓練所官制

第一條 臺灣總督府陸軍兵志願者訓練所ハ臺灣總督ノ管理ニ屬シ陸軍特別

志願兵令第一條ノ規定ニ依リ陸軍ノ兵役ニ服スルコトヲ志願シタル者ニ

對シ心身ノ鍛鍊其ノ他ノ訓練ヲ施ス所トス

第二條 臺灣總督府陸軍兵志願者訓練所ニ左ノ職員ヲ置ク

所長

教官

書記

專任

一一人

内

三人

奏任

專任

一人

判任

第三條 所長ハ教官ヲ以テ之ニ充テ臺灣總督ノ命ヲ承ケ所務ヲ掌理シ所屬

職員ヲ監督ス

所長事故アルトキハ臺灣總督ノ命シタル者ヲ以テ其ノ職務ヲ代理セシム

第四條 教官ハ上官ノ指揮ヲ承ケ其ノ擔任業務ヲ掌ル

第五條 書記ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

附 則

本令ハ昭和十七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十八年七月二十日  
 臺灣總督府  
 東京出張所

總總第四一四號

臺灣總督府海軍兵志願者訓練所官制制定ノ件別紙ノ通勅令公布  
 方御詮議相成候様致度理由書相添此段及稟議候也

昭和十八年七月二十日

臺灣總督 長谷川



內務大臣 安藤紀三郎 殿

臺灣總督府

上奏書用紙

(日本標準規格 B.4) 東・東 1137